

# 食品ロス・食品廃棄物削減対策に関する予算体系(H30)

資料1-1

## 実態把握・推進体制の整備

青色の見出しの事業の予算合計額: 39,970千円  
赤色の見出しの事業の予算合計額: 8,000千円

### (拡)食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議の開催等(農産食品課)

予算額: 1,400千円(食料産業・6次産業化交付金(1/2))  
開催回数: 2回(10月頃、3月頃の開催を予定)  
協議内容: ①実態把握と推進体制の整備②周知・啓発③発生抑制の重点的な取組みを基本方針とした食品ロス等削減県民運動(愛称: とやま食ロスゼロ作戦)を着実に実行し、県民総参加の運動につなげる。実務者研修会も実施。

①

### (新)3R推進全国大会関連事業(環境政策課)

予算額: 6,500千円(県単)  
内容: 本年10月に開催予定の3R推進全国大会及びとやま環境フェア2018において、食品ロス削減に向けた様々な取組みを県内外へ発信するほか、食品ロス関連映画の上映などの啓発事業を実施

## 周知・啓発

②

### (拡)「とやま食ロスゼロ作戦トークイベント」の開催(農産食品課)

予算額: 1,450千円(食料産業・6次産業化交付金(1/2))  
開催回数: 1回(富山会場9月開催)  
内容: 一般県民を対象に食品ロス・食品廃棄物をテーマとした講演等を実施

### (新)水際サルベージの実施(環境政策課)

予算額: 500千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
内容: 家庭で手つかず食品の廃棄を水際で防ぐため、指定ごみ袋に食品ロス削減のキャッチフレーズやロゴを印刷  
対象: 県内の家庭用指定ごみ袋

### (拡)食品ロス・食品廃棄物削減に関するWebサイトの管理・充実(農産食品課)

予算額: 510千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
目的: 県内食品ロス・食品廃棄物に関する情報を一元的に集約し、県民や事業者に向けて情報を発信することで、食品ロス・食品廃棄物の削減に関する意識を啓発する。  
掲載内容: 富山県食品ロス・食品廃棄物の現状、削減に向けた取組み・事業者紹介、イベント情報、県民会議の議事録等

### (新)子ども向け食品ロス削減啓発事業(9月補正)(農産食品課)

③

予算額: 5,000千円(地方消費者行政推進交付金(10/10))  
目的: 楽しみながら食品ロスを学べる紙芝居や動画を制作することで、子どもの頃から「もったいない」精神や食べ物を大切にすることを育成するとともに、子どもから親への普及を図り、親子で一緒に食品ロス削減に取り組むきっかけを創出する。  
制作物: 紙芝居、動画  
配布先: 県内図書館、保育所、幼稚園、認定こども園等  
制作内容: すっきりんごちゃんが食品ロスについて学ぶ物語

## 発生抑制(リデュース)

## リユース

## リサイクル

### (新)「ロスゼロウィーク県民チャレンジ」の実施(環境政策課)

④

予算額: 2,000千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
内容: 食品ロスを出さない期間を設定し、学校や職場などグループ単位で食品ロスの廃棄ゼロを競うなど県民総参加での取組みの実践と効果の実感・継続を図る。  
実施時期: 8月上旬または10月の1週間程度

### (新)「サルベージ・セミナー」の開催支援(環境政策課)

⑤

予算額: 2,000千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
内容: サルベージ・パーティの自主的な開催を促進するセミナー開催を支援(10回程度)。  
対象: 各消費者団体、食生活改善推進連絡協議会、子育てサークル、PTA、大学生サークルなど

### (新)とやま環境未来チャレンジ事業(環境政策課)

予算額: 4,000千円(地方創生推進交付金(1/2))  
内容: 小学校で食品ロス対策など環境に関する学習プログラム「とやま環境チャレンジ10」を実施するほか、家庭科「消費生活・環境」で活用できる副読本を作成し、家族ぐるみでの実践を促進

### (新)食材丸ごと使いきり推進事業(農林水産企画課)

⑦

予算額: 1,500千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
内容: 食材使いきりコンテストの実施、食育講座の開催

### (新)エコ・ストアアプリの「使いきり3015」通知機能追加等の改修(環境政策課)

⑥

予算額: 1,000千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
改修内容: スマホ用アプリ「とやまエコ・ストアアクション」を改修し、①30日と15日に「使いきりの日」を通知、②使いきりレシピなどの公開・検索機能を追加

### 「とやまのエコフィード」利用推進支援事業(農業技術課)

⑭

予算額: 4,770千円(県単)  
目的: 食品残さ等をエコフィードに有効活用し、本県の飼料自給率向上を図る  
内容: ①エコフィード需給マッチング推進事業  
・食品製造業者等から発生する食品残さの発生量等の調査結果を基に、家畜飼料としての利用可能な残さの種類や量等の情報整理や、飼料としての評価(栄養価や安全性)を実施  
・畜産農家の利用意向調査結果を基に、需給調整(マッチング)を図る  
・「とやまのエコフィード利用推進協議会」により利用拡大を推進する  
②エコフィード利用体制整備事業  
畜産農家等が食品残さ等をエコフィードとして利用する場合に必要な保管施設等の整備に対し支援等

### 農業生産資材推進事業(肥料流通指導)(農業技術課)

・肥料生産及び販売業者からの登録・届出の対応  
・肥料生産及び販売業者への立入検査、肥料分析

### 中小企業環境施設整備資金(環境政策課)

内容: 廃棄物の資源化及び再生利用のために必要な施設整備等に対する融資  
限度額: 3,000万円【個別】、5,000万円【団体】  
融資利率: 年1.65%以内

### 産学官イノベーション推進事業(商工企画課)

内容: 環境・エネルギー分野など、成長産業分野の研究開発に対する支援  
(限度額: 200万円、期間: 1年間)

### 再生エネルギー利用促進資金(経営支援課)

内容: 再生可能エネルギーを利用した発電設備の導入に対する融資  
(限度額: 1億円、融資利率: 年1.15%以内等)

家庭系

事業系

### (新)商慣習の見直しに向けた検討(農産食品課)

⑧

予算額: 600千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
目的: 納品期限の緩和を全県的に広めるために製造・卸・小売の意見交換会を開催し、各業界での課題等について検討するとともに取組事業者を拡大  
内容: 各段階及び3業界合同の意見交換会の開催、ヒアリングの実施、国の取組みの周知

### (新)商慣習の見直しに関する検証事業(農産食品課)

⑨

予算額: 3,000千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
内容: 一部の加工食品を対象に販売期限及び納品期限を緩和した場合の食品ロス削減の効果について検証  
検証内容: 納品期限緩和・販売期限延長による食品ロス削減効果、販売期限延長に伴う消費者の反応、納品期限緩和に伴う流通の課題等

### (新)商慣習見直し啓発事業(9月補正)(農産食品課)

⑩

予算額: 3,000千円(地方消費者行政推進交付金(10/10))  
内容: 納品期限の緩和や過剰在庫の解消等に取組む事業者の優良事例等をまとめた事例集を作成するとともに、県民向けに商慣習の見直しに関する啓発物を作成し、県民の理解促進を図る。  
作成部数: 事例集: 1,500部 啓発物: 5,000部  
配布先: 事例集: 県内食品関連事業者 啓発物: 一般県民

### (拡)期限間近商品の優先購入促進キャンペーンの実施(農産食品課)

⑪

予算額: 540千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
内容: 県内小売店で消費者に期限の近接した商品を優先的に購入することを啓発するポスター等を掲示  
実施期間: 平成30年10月~11月  
「食品ロス削減の日」(10/30)前後の2ヶ月間

### (新)「ロスゼロ」モデル推進事業(環境政策課)

⑫

予算額: 2,000千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
内容: 小売店の先進的なモデル活動を支援  
実施主体: 食品ロスの削減に積極的に取り組む小売業者  
補助額: 1店舗あたり500千円×4店舗  
対象: ①消費者の食品廃棄物を防ぐモデル的な取組み  
②小売業者からの食品ロスを削減するモデル的な取組み

### (新)「食べきり3015運動」推進事業(農産食品課)

⑬

予算額: 1,000千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
目的: 3015運動をPRする三角柱等を制作し宴会の席等に配置してもらうことで、宴会参加者の3015運動の取組みを促進する。  
作成物: 三角柱、ポスター、チラシ等

### (新)「食べきりサイズメニュー」導入促進事業(農産食品課)

⑬

予算額: 500千円(地方消費者行政強化交付金(1/2))  
内容: 飲食店での食べきりサイズメニューを推進するため、小盛りメニュー(=食べ切りサイズメニュー)の導入を飲食店に働きかけ、全県的に小盛りメニューの導入促進を図る。

協力宣言事業者の募集・登録

### (拡)食の健康づくり推進事業(健康課)

予算額: 5,700千円  
内容: 「健康寿命日本一応援店」を募集・PRし、外食時の食生活改善を支援

### 飲食店向けHACCP理解醸成事業(生活衛生課)

予算額: 1,000千円  
内容: 県内の飲食店事業者を対象とした研修会の開催

宴会

食事

製造

流通

小売

①3R推進全国大会関連事業

<目的・内容>

国民・事業者・行政が一堂に会し、それぞれの取り組みや知見を共有・発信することにより、3Rに関する理解と取り組みを促進することを目的とし、基調講演、パネル展示などを行う。

<開催日・参加人数>

日時 10月12日(金) 13:00~17:00  
場所 富山国際会議場メインホール  
参加者 約600名



②「とやま食ロスゼロ作戦トークイベント」の開催

<目的・内容>

一般県民等を対象として、食品ロスをテーマとした外部講師によるトークイベントを行い、県民が食品ロスの削減について考える機会を創出し、意識啓発を行う。

(「第13回3R推進全国大会」及び「とやま環境フェア2018」の関連イベントとして開催)

<開催日・参加人数>

日時 10月13日(土) 10:30~12:00  
場所 イオンモール高岡  
講師 崎田裕子氏  
参加者 約70名



③子ども向け食品ロス削減啓発事業(9月補正予算)

<目的>

未就学児を対象に、楽しみながら食品ロスを学べる紙芝居や動画を制作することで子どもの頃から「もったいない」精神や食べ物を大切にすることを育成するとともに、子どもから親への普及を図り、親子で一緒に食品ロス削減に取り組むきっかけを創出する。

<制作物> 紙芝居、動画 <配布先> 県内図書館、保育所、幼稚園、認定こども園 等

<制作内容案>

・期限の新しい牛乳から買われていったため売れ残った牛乳とすっきりんごちゃんが出会い、食品ロスについて学ぶ物語

・賞味期限と消費期限の違いについてすっきりんごちゃんが学ぶ物語

④「ロスゼロウィーク県民チャレンジ」の実施

<目的>

県民総参加で食品ロス削減の取り組みの実践を促し、その効果を実感し継続につなげるため、家族やグループ単位で食品ロス削減にチャレンジするキャンペーンを実施する。

<キャンペーンの概要>

チェックシート付きのチラシを配布し、また、フリーペーパー等で周知を行った。

(取組期間) 平成30年8月1日(水)~平成30年8月7日(火)

(取組内容) ①食品ロスを出さなかった日はチェックシートに「○」を付ける。

②「○」の数に70g(家庭から排出される1人1日あたりの食品ロス量)をかけて、削減量を推計。

取組期間後、チェックシートを応募してもらい、県全体での削減量を集計した。また、集計結果を3R推進全国大会などで発表した。

<結果>

(1)参加人数 18,855人

参加・協力いただいた企業・団体数 51企業・団体

(2)削減した食品ロス 約6.8トン(ご飯茶碗 約45,000杯分)



⑤「サルベージ・セミナー」の開催支援

<目的・内容>

手付かず食品の削減に有効なサルベージ・パーティについて、団体等の自主的な開催を促進するため、団体等がセミナーを開催する際の講師派遣や、開催方法などについてのマニュアル作成を行う。

<講師派遣の実績等>

第1回: 富山県婦人会新川地区連合(48名参加)

第2回: 富山県食生活改善推進連絡協議会(45名参加)

第3回: 富山短期大学(30名参加)

第4回: 北陸料理技術検定協会(11/3予定)

第5回: 小矢部市環境保健衛生協議会・小矢部市婦人会(11/11予定)

その他、5回開催予定



⑥エコ・ストアアプリの「使いきり3015」通知機能追加等の改修

<目的・内容>

「使いきり3015」の実践を促すため、スマホアプリ「とやまエコ・ストアアクション」を改修する。

<追加機能>

・30日と15日に、使いきりの日であることを通知する機能

・使いきりレシピやサルベージ・パーティで生まれたレシピの公開、検索機能

<公開日> 6月21日(木)~



⑦食材丸ごと使いきり推進事業

<目的>

子どもとその親や祖父母、地域住民などを対象に、「もったいない」、「ありがたい」といった食べ物に感謝する心を養うとともに、食べ物を無駄なく使いきる大切さや食べきる重要性について地域で食育活動を実践しているボランティアの人たちと協力して食育を学ぶ機会とする。

<事業の概要>

①食材使いきりコンテストの開催

食材をいかに無駄なく活用するかの工夫を凝らしたコンテストを開催し、食材ロスの削減と食材の有効活用に向けた実践につなげる。

②食育講座の開催

食品ロスの発生要因から手軽に実践できる削減方法など、食品ロス削減に向けた取り組みを学ぶ。

対象:各地区の子どもやその親、祖父母、地域住民 など  
20地区(全市町村)



⑧商慣習の見直しに向けた検討

<目的>

食品流通過程における食品ロス発生の原因となりうる過剰在庫や納品期限等の商慣習について、フードチェーン全体で話し合いを行いその解決を目指す。

<検討内容>

「飲料及び賞味期間が180日以上菓子」の納品期限緩和に向けた課題と方策 等

<メンバー>

製造業:5社、卸売業6社、小売業6社、アドバイザー

<開催回数>

検討委員会2回(7月、9月)、業種毎の分科会各1回(8~9月)

# 食品ロス等削減運動を支える県の主な施策 (H30)②

## ⑨商慣習の見直しに関する検証事業

### <検証事業>

賞味期間が短い一部の加工食品を対象に、納品期限を緩和した場合の食品ロス削減効果等について検証

検証内容:(製造)出荷機会の拡大による食品ロス削減効果  
(小売)納品期限緩和に伴う廃棄・売価変更等への影響

実施時期:平成30年11月

### <アンケート調査>

(1)食品事業者向けアンケート調査

県内の食品関連事業者における納品期限や販売期限の設定状況等についてアンケート調査を実施

調査内容:・納品期限・販売期限の設定状況 ・余剰生産の状況  
・商慣習における問題や成功事例等

実施時期:平成30年10月～11月

(2)消費者向け意識調査

賞味期限や商慣習に関する消費者の意識を把握するとともに、食品ロス問題について意識啓発を図るため、スーパーの店頭で聞き取り調査を実施

調査内容:賞味期限・消費期限、商品の選択方法、販売期限、納品期限、品切れ等に対する意識

実施時期:平成30年10月

## ⑩商慣習見直し啓発事業 (9月補正予算)

### <目的・内容>

食品流通過程における納品期限等の緩和を促進するため、納品期限の緩和や過剰在庫の解消等に取り組む事業者の優良事例等をまとめた事例集を作成するとともに、県民向けに商慣習の見直しに関する啓発物を作成し、県民の理解促進を図る。

<作成部数> 事例集:1,500部 啓発物:5,000部

<配布先> 事例集:県内食品関連事業者(製造業、卸売業、小売業)  
啓発物:一般県民

## ⑪期限間近商品の優先購入促進キャンペーンの実施

### <目的・内容>

消費・賞味期限が近接している商品から優先的に購入してもらえようように消費者に啓発を行い、期限切れで廃棄される商品の削減につなげる。

### <キャンペーンの概要>

消費・賞味期限の近接した商品の購入が食品ロス削減につながることを消費者に広く周知し、理解促進を図るため、スーパー等の店頭でポスター、POP等PR媒体を掲示する。

(1)実施期間 平成30年10月9日(火)～平成30年11月30日(金)

(2)実施店舗(協力店) 食品ロス等削減運動協力宣言事業者等

県内食料品小売店 128店舗

このほか、(株)ファミリーマート、  
(株)セブン-イレブン・ジャパンでも実施

<PR媒体> ポスター、POP等

・食品ロスや消費期限・賞味期限の違いについて周知。

・商品を手前から取ることを啓発。



## ⑫「ロスゼロ」モデル推進事業

### <目的・内容>

食品販売・購入を通じて食品ロスを削減するため、小売店の先進的で全県的な広がり可能性のあるモデル活動の企画を募集し、その活動を支援する。

### <募集対象>

食品ロスの削減に積極的に取り組む小売業者

### <補助率>

1/2(限度額500千円、複数店舗の場合1,000千円)

### <補助申請の予定>

現在、2事業者と調整中。

## ⑬「食べきり3015運動」推進事業 「食べきりサイズメニュー」導入促進事業

### <「食べきり3015運動」推進事業>

3015運動をPRする三角柱等を制作し宴会の席等に配置してもらうとともに、幹事向けチラシにより3015運動の協力依頼をもらうことで、宴会参加者の3015運動の実践を促進する。

制作物:三角柱POP、ポスター、チラシ

配布先:県内ホテル・旅館、居酒屋、仕出し屋等



### <食べきりサイズメニュー導入促進事業>

飲食店での食べきりを推進するため、小盛りメニューの導入を飲食店に働きかけ、全県的に小盛りメニューの導入促進を図る。

制作物:テント型POP、ポスター、チラシ

配布先:レストラン等県内飲食店

## ⑭「とやまのエコフィード」利用推進支援事業

### <目的>

食品残さ等をエコフィードとして利用することにより、畜産における飼料自給率の向上を図る取組みを支援するとともに、地域内未利用資源の有効活用を推進する。

### <実施内容>

#### (1)エコフィード需給マッチング推進事業

①食品製造業者と畜産農家とのマッチングに向けた調整を実施

食品製造業者	種類	地域	畜種
A	酒粕	黒部市	乳牛
B	農場残さ	県下全域	乳牛・肉牛
C	ウイスキー粕	砺波市	乳牛



【規格外農場残さ】



【地ビール粕】

②北陸地域エコフィードセミナーの開催 (H30.10.18 40名参加)

③エコフィードの成分分析の実施(5検体)

・地ビール粕、菓子屑等混合飼料の分析

#### (2)エコフィード利用体制整備事業

エコフィードの利用に必要な機械等の整備支援  
(酪農家に対し給餌車の導入支援)



【給餌車】

## 食品ロス等の削減に向けた県内の取組状況

分野	団体等名称	取組内容	
		29年度以前に実施	30年度に実施 (新)…30年度から新たに実施したもの、(検)…31年度も含め、実施を検討しているもの
生産	JA富山県 女性組織協議会		・技術力アップによる廃棄量の削減 ・規格外品を加工品へ利用
	全国農業協同 組合連合会 富山県本部		・技術力アップによる廃棄量の削減 ・規格外品を加工品へ利用
	富山県漁業 協同組合連合会		・鮮魚や加工品向けとして取引されない魚を肥料、飼料の原料として提供 ・魚食文化の普及(魚のさばき方教室の開催)
	富山県農業協同 組合中央会		・技術力アップによる廃棄量の削減 ・規格外品を加工品へ利用
製造	(一社)富山県 食品産業協会	・会員企業を対象とした食品廃棄物等の発生量や商慣習の実態等に関する調査を実施 ・協会誌に県の食品ロス等削減に関する取組みを掲載して周知・啓発	(新)商慣習検討委員会への参加 ・商慣習や食品ロスの現状に関するヒアリングへの協力 ・メルマガ会員への「食べきり3015運動」周知及びイベントの案内 ・広報誌による食品ロス削減運動の周知
(卸売・ 小売・流通・ 外食)	富山県商工 会議所連合会		・広報誌による食品ロス削減運動の周知 ・食べきり3015運動の実践
	富山県商工会 連合会		・広報誌による食品ロス、3015運動の周知
	富山県水産物 商業協同組合 連合会		(新)団体内部等における3015運動啓発資材の配布 ・小容量販売、バラ売り、総菜等の値引き販売の実施
	富山県青果卸売 市場連合会		・規格外品を子ども食堂に提供 (検)肥料化の再生利用を行う施設があれば、食品残さの提供を検討
	富山県生衛生 同業組合連合会		・飲食関係組合加盟店での小盛メニュー等の提供
	富山県生活協同 組合連合会	・会員生協を対象に食品ロス削減に関する学習会を開催	(新)県内におけるフードバンク活動実施団体と交流を行い、生協連としてできることを提案 ※10月13,14日テクノホールにて「けんせいきょう祭り」を開催しフードドライブに取り組み75.2kg集まりました。 (新)富山いずみ高校の特別授業で食品ロスの学習会を実施 (新)サルベージ・パーティを県内3ヶ所で開催 ・団体内部等における3015運動実施の協力依頼 ・期限間近商品の優先購入促進キャンペーンへの協力 ・小容量販売、バラ売り、総菜等の値引き販売の実施 ・売れ残りによるロスを出さないため、データ(天候、曜日、時間帯等)を活用した仕入れの実施 ・青果物パックセンターの不良品を減らすよう、生産者や取引業者に働きかけ (検)今後、フードドライブ活動を会員生協でも期間を決め実施予定
	富山県米穀小売 商業組合		(新)保育園での食品ロス学習の実施 ・粗選機から弾かれた米や米ぬかを加工食品や肥料、飼料の原料として販売
	富山県 ホテル・旅館生 活衛生同業組合	・3015運動の提案	(新)宴会幹事との打合せや3015運動啓発資材の配置 ・料理提供のタイミングの配慮
	ユニー(株)		・期限間近商品の優先購入促進キャンペーンへの協力 ・飲料・賞味期間180日以上の子の納品期限の緩和 ・需要予測による仕入量の調整

## 食品ロス等の削減に向けた県内の取組状況

分野	団体等名称	取組内容	
		29年度以前に実施	30年度に実施 (新)…30年度から新たに実施したもの、(検)…31年度も含め、実施を検討しているもの
消費者等	(公社)富山県栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養研究発表会に向けて傘下の栄養士会の職域事業部が「食品ロス削減」をテーマに調査・研究</li> <li>・機関紙、啓発チラシを活用した普及啓発</li> <li>・フードバンクの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(新)食育リーダー派遣事業等で「3015運動」の周知・推進強化</li> <li>(新)食材の在庫管理に伴うメニューチェンジ</li> <li>・生徒の買い物実習において、消費・賞味期限が近い商品から購入するよう指導</li> </ul>
	(福)富山県社会福祉協議会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内職員を対象にフードドライブを呼びかけ、収集食品を生活自立支援センターの相談者へ配布</li> </ul>
	富山県PTA連合会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県PTA連合会や単位PTAの広報紙を活用した周知・啓発</li> <li>・懇親会等で3015運動の協力依頼</li> </ul>
	富山県環境保健衛生連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス等削減県民運動の愛称・標語募集の事業について、富山市内の小学校や各市町村事務局に周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(新)サルベージ・パーティの研修会の実施</li> <li>・食品ロス対策を今年度の重点事項とし、各市町村協会に取組みを働きかけ</li> <li>・小中学校を対象とした「環境に関する壁新聞・ポスター募集」事業の内容に、「食品ロス」問題を加えて募集</li> </ul>
	富山県消費者協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロスに関するアンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(新)平成30年度活動目標の中に、「地域・環境・社会に配慮した消費行動（エシカル消費）」の一環として、「食品ロス・食品廃棄物の半減を目指そう」と明記し、消費生活研究グループの活動の中で実践し、また、各種イベントの中で普及啓発を行う。</li> <li>(新)「くらしの相談会」や、「多様な主体による連携型の消費者教育強化事業」の啓発活動メニューの中に「食品ロス削減」を新設し、消費者への普及啓発の拡大を図る。</li> </ul>
	富山県食生活改善推進連絡協議会		<ul style="list-style-type: none"> <li>(新)サルベージ・セミナー</li> <li>・食品ロス削減対策に関する講演や講座の開催及び調理実習（ベジブロスの調理・試飲・効用・3010、3015運動の普及他）</li> <li>・学生（高校生・専門学校生・大学生）～30代、壮年・高齢者を対象にした食育推進事業で食品ロス削減を普及啓発</li> <li>・今まで捨てていた食材を使った料理をもう1品加え、住民への普及啓発（エコクッキングの実施）</li> <li>・小学生親子料理コンクールの実施（食品ロス削減料理の募集・審査・表彰・開催地の広報に掲載他）</li> <li>・各イベント（とやま環境フェア・健康と長寿の祭典・市町村のフェスティバル等）において「食品ロス削減」をテーマとしたPRブースの出展及び普及啓発（食品ロス削減料理の展示）</li> <li>・地域住民や各事業所職員に対する普及啓発の実施（講義及び調理実習・レシピ集・啓発チラシ等を作成・配布・食品ロス削減クイズ）</li> <li>(検)今後、サルベージ・パーティを実施予定</li> </ul>
	富山県婦人会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サルベージ・パーティの開催（県との共催）</li> <li>・食品ロス削減をよびかける啓発チラシを婦人会のある8市町で全戸配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(新)食品ロス削減に関する研修会実施（講演、グループ討議、発表）</li> <li>(新)社会教育大会で「食品ロス削減の取り組みについて」発表</li> <li>(新)食品ロス削減をよびかける啓発チラシを婦会のない7市町村で配布（回覧他）</li> <li>・「定期的な冷蔵庫チェック、食材の使い切り（毎月30日、15日）」や宴会時における3015運動実施を呼びかけ</li> <li>・買い物方法の見直し（必要な量だけ購入するため、事前に在庫品をチェック）を呼びかけ</li> <li>・市町でのサルベージ・パーティの開催（県との共催を含む）</li> <li>・ロスゼロウィーク県民チャレンジへの参加推奨</li> </ul>

## 食品ロス等の削減に向けた県内の取組状況

分野	団体等名称	取組内容	
		29年度以前に実施	30年度に実施 (新)…30年度から新たに実施したもの、(検)…31年度も含め、実施を検討しているもの
市町村	富山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>おいしいとやま食べきり運動の展開(啓発グッズ配布(ドギーバッグ、巾着等)(H22,23)、スタンプラリー・リメイク料理講演会(H25)、標語コンテスト(H26))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(新)おいしいとやま食べきり運動協力店を通し、消費者に食べ残した料理を持ち帰るパックを配布</li> <li>地域のイベントへのブース出展</li> <li>市主催等のイベント時にフードドライブを実施し、収集食品を知的障がい者の方が働く作業所に寄付</li> <li>おいしいとやま食べきり運動の展開(小・中学校・幼稚園への啓発活動、協力店等でのポスターやチラシの掲示、広報誌や専用HPでの周知啓発、出前講座、イベント出展)</li> <li>食育の推進</li> </ul>
	高岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民団体との連携事業(30・10運動推進の三角柱制作等)の実施、大規模事業者への食品ロス関連のアンケート実施</li> <li>食品ロス削減講座～エコッキング教室～の開催(エコライフを楽しむ市民の会高岡)</li> <li>食品ロス削減啓発物品の配布活動(エコライフを楽しむ市民の会高岡)</li> <li>ケーブルテレビによる30・10運動PR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(新)フードドライブの実施</li> <li>(新)30・10運動を推進するチラシを制作(エコライフを楽しむ市民の会高岡)</li> <li>(新)とやま環境フェア2018にて食品ロス削減等を啓発するブースを出展(エコライフを楽しむ市民の会高岡)</li> <li>(新)サルベージ・パーティの開催(エコライフを楽しむ市民の会高岡)</li> <li>食品ロス削減啓発物品の配布活動(エコライフを楽しむ市民の会高岡)</li> <li>廃食用油を資源物として回収、再資源化</li> <li>食育の推進</li> <li>食品ロス削減普及活動に取り組む市民団体の支援</li> <li>(検)今後、高岡型エコッキングの実施予定(エコライフを楽しむ市民の会高岡)</li> </ul>
	魚津市		<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発チラシの全戸配布</li> <li>学校給食の残食率を各学校に掲示して意識啓発</li> <li>食生活改善推進連絡協議会が作成した食品ロス抑制効果のあるレシピを講習会・ケーブルTVを通じて紹介</li> <li>食育の推進</li> </ul>
	氷見市		<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発</li> </ul>
	滑川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発チラシの全戸配布(滑川市連合婦人会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌による食品ロスの周知啓発</li> <li>生ゴミ処理機の購入費補助</li> <li>廃食用油を資源物として回収、再資源化</li> </ul>
	黒部市		<ul style="list-style-type: none"> <li>廃食用油を資源物として回収、再資源化</li> <li>食育の推進</li> </ul>
	砺波市		<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌・ホームページによる3015運動の周知啓発</li> <li>食育の推進</li> </ul>
	小矢部市		<ul style="list-style-type: none"> <li>(新)啓発チラシの全戸配布</li> <li>3015運動を呼びかけるコースターを市内飲食店で使用してもらい、食品ロス削減を周知啓発</li> <li>広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発</li> <li>夏休みの応募作品として食品ロス削減啓発ポスター・壁新聞を募集</li> <li>小矢部食品衛生協会へ食品ロス対策助成</li> <li>食育の推進</li> <li>生ゴミ処理機の購入費補助</li> </ul>

## 食品ロス等の削減に向けた県内の取組状況

分野	団体等名称	取組内容	
		29年度以前に実施	30年度に実施 (新)…30年度から新たに実施したもの、(検)…31年度も含め、実施を検討しているもの
市町村	南砺市		(新)市内から排出される可燃ごみの組成調査を実施 ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発 ・食育の推進 ・生ゴミ処理機の購入費補助
	射水市	・30・10運動のコースター、啓発用チラシを飲食店に配布	(新)食品ロス削減啓発の30・10運動の啓発用チラシを作成し、市報と同時に全戸配布 ・地球温暖化防止活動の一環で夏休みの応募作品として、食品ロス削減啓発ポスター・壁新聞を募集 ・出前講座のメニューに「食品ロス・食品廃棄物の削減」を追加し普及啓発
	舟橋村		(新)食材丸ごと使いきり料理コンテストの実施 ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発(広報誌へチラシ(3回)を折り込み全戸配布)
	上市町		・広報誌による食品ロスの周知啓発 ・食育の推進 ・小中学生を対象に「かみいち食べきるゾウ運動」の実施
	立山町		・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発 ・町内の学校給食、保育所、役場食堂等から食品残さを回収し、堆肥にして販売 ・食育の推進
	入善町		・ゴミの分別に関する出前講座等で食品ロス削減の周知・啓発 ・食育の推進
	朝日町		・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発 ・町内の飲食店に対し、お客に対する食べ残し削減の周知啓発の協力依頼 ・規格外を活用した商品開発への補助 ・食育の推進

## 食品ロス等の削減に向けた目標について

	目標名及び目標の説明	現況	2017年度	2018年度	2021年度 【目標】	2026年度 【目標】	目標設定の考え方	備考
1	食品ロス削減のための取組みを行っている人の割合  食品ロスの問題を認知し、削減に向けて何らかの取組みを行っている人の割合	62.9% (2016)	64.0%	70.1% (速報)	80%	90%	県民や事業者に対する食品ロス問題の普及啓発や削減に向けた行動の働きかけにより、取組みを行う人の増加を目指す。	2015 全国調査: 76.5%(国 2020 目標値:80%以上)  2016 県政世論 調査:62.9%
2	県民1人1日当たりの食品ロス発生量	約 110g (2016)	2021 年度までに 調査を実施予定		減少させる	2030 年までの半減 を目指して減 少させる	国連の「2030年までに世界全体の1人当たりの食料廃棄を半減する」との目標を踏まえ、全県的な食品ロス削減運動の展開や意識啓発等により、2030年までの半減を目指す。	2015 国連採択 「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」  2015 全国調査: 134g  2016~2017 家庭 系・事業系食品 ロス等実態把握 調査:約 110g

※新総合計画の目標値（県民参考指標）として設定。

なお、1については、第3期県食育推進計画(2021 目標年度)の目標値としても設定。